

211
3 vols

寫真
花鳥圖
冊

80



花鳥宮箋圖彙序

人於樂也莫若見奇花鮮

色同函為嬰者矣故武養

孟裡乾中或求之林間野

人樂極其不以慰閑靜者

因也紅翠為之其人也為姓北

名重政字弘羸蹄紅翠志

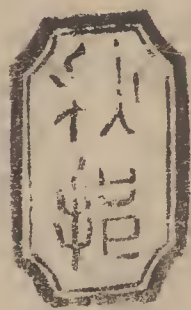
善畫亦長字生名在松

近七旬而未曾懂聲聞

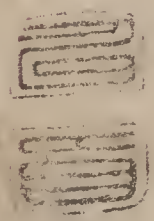
摸字乎所至繁作一帖名曰
花鳥真圖彙彼解々色与噪
聲收拾未在此帖中然
畫素無聲色之生覽者
賞譽人裡々々之無去色
展覽此帖只想像盆裡花中
與林間聲色耳如見解々色
中嚶々聲一鳴呼紅翠一熟
悟入傳神寫照之妙境於此

帖中亦可觀耳
文化之丑事日

月所外史撰



友人董半雲士書



凡例

- 一此帖筆上狹少く、筆勢揚々、
- 牡丹の、まじら、字を、終、あ、は、
- 花、其、字、大、小、少、く、ま、あ、る、人、若、也
- 一畫都く、色、紙、後、に、終、一、ま、あ、る、迫、り
- 何、く、ま、看、宜、恕、審、給、へ
- 一前、に、述、ぶ、所、の、大、多、の、新、異、日、別、本、を、
造、り、様、行、を、急、く

僻地問屈屈、任蕪丹青、
意賡工、芥溪邊、派畔、慣常、
看寫生、百花羣、島圖、

松濤女史題





戎葵 わぶひ
白頭翁 しろくろう



雲雀^{ひぐり}



堇菜^{すみれ}
碎米菜^{けいまいさい}





ハヤ
隔
櫻

豊

いんぎょ
銀杏

ササガ
鶯
ウケス





さくろの花
柘榴花



未央柳
眉畫鳥



紅透百合



